

平成29年度 予算編成の重点施策は

町田 宗宏



町長

町への移住促進のための
施策が最重点

質問

町への移住を促進し、玉村町を消滅の可能性のある町から脱却させるための重点施策は。

答弁

町長 重点施策である小学生の給食費の半額補助をはじめ、「玉村町版生涯活躍のまちづくり」(※1)の事業計画の策定、県立女子大等との連携による「教育レベルの高い町づくり」等によって若い人たちの移住を促進したい。

質問

東京都からの移住を図るため、東京都民に対する玉村町のPRも重要ではないか。

答弁

町長 極めて重要であると考えている。実行したい。

質問

「教育レベルの高い町づくり」の一環として「県立女子大を男女共学の大学に拡充し、理工学部や農学部を増設する。さらに附属高校や小・中学校を附置する」ことを県に要望してはどうか。



教育レベルの高い町づくりを目指して

答弁

副町長 実現は難しいかもしれないが、効果のあることと考えられるため研究をしていきたい。

質問

平成29年度予算編成に当たっての町の財政健全化のための重点施策は。

答弁

町長 一つには「徹底したコスト削減」。町の財源は町民からの貴重な税金であることに認識し、無駄を排除することが特に重要であると考えている。二つには「事務・事業の効率化」によってコスト削減

質問

を図るとともに、事業のスクラップ・アンド・ビルドに努めたい。「補助金及び助成金」の見直しも重要ではないか。

答弁

町長 重要なことであり、補助金等の事業については、住民の方も含めた形での検討・見直しが必要であると考えている。

質問

「県央水質浄化センター」の活用(太陽光発電装置の設置や汚泥・排水の再生土水の活用)について、県に要望しただらどうか。

答弁

副町長 そういったものができるのかどうか、勉強させていただきたい。

※1「玉村町版生涯活躍のまちとは」

9ページを参照